



# おおゆストーン新聞

秋も深まり、過ごしやすい日々が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。行楽シーズンのこの時期、連休も続いたことからお出かけになった方も多いことと思います。そういう私も、先日友人たちと岩手県八幡平へ行ってきました。八幡平はちょうど紅葉が見頃で、山々が色鮮やか



に染まる景色に、心身ともにリフレッシュできました♪

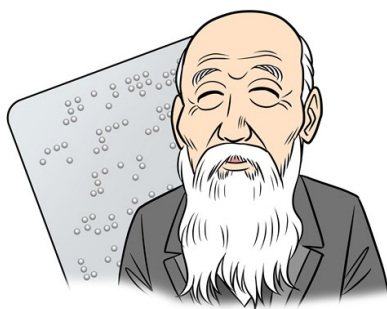
さて、大湯石材店は今年も弘前運動公園で開催される【津軽の食と産業まつり2026】に出展いたします。経験豊富なスタッフが皆様のお悩みに誠実に対応いたします。日時は11月7日(土)、8日(日) 9:00～16:00 (8日は15:00まで) の二日間です。皆様のお越しを心よりお待ちしております！



## 知っていますか? 11月の記念日

●11月1日は「点字の日・日本点字制定記念日」です。日本語用の点字が決められたことにちなんで制定されました。それまでは欧米の点字を利用したローマ字綴りで表現されていたため、かな文字にあった点字として考案された案が、1890年(明治23年)のこの日に開催された日本点字選定会で正式に採用されました。

この点字を考案した石川倉次は、「日本点字の父」とも呼ばれています。



### ■発行者: おおゆ石材

大正12年以来、津軽の皆さまとご一緒に歩んでまいりました。石やお墓のある、豊かな暮らしを、お手伝いしてまいります。



よこやま



みかみ



いしおか

弘前バイパス店 弘前市石川春仕内103-1  
浪岡ステーション 青森市浪岡 浪岡細田1-2  
ストーンマルシェ 平川市岩館山の井127-3  
☎ 0120-63-1483 (有)大湯石材店



# ～お墓・仏事の三ニ知識～



## ★「十三仏(じゅうさんぶつ)」とは？

仏教の多くの宗派では、人が亡くなると初七日から始まって三十三回忌まで十三の節目に法要を行います。その際に、故人の成仏を願い、見守るとされているのが「十三仏」です。もともとは、中国で始まった「人は亡くなると7日ごとに審判を受ける」という十王信仰を受けて、日本独自の信仰として室町



時代ごろに広まったとされています。初七日は不動明王、四十九日は薬師如来、三十三回忌は虚空蔵菩薩というように、それぞれの年忌ごとに異なる仏が守るとされていて、宗派によっては追善供養として掛軸を飾って故人の冥福を祈ります。「故人が無事に極楽浄土へたどり着けるように」という、残された人々の強い想いが感じられます。

## 神事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q

京都市にある木嶋坐天照御魂神社(別名:蚕ノ社)にある珍しい鳥居は次のうちどれでしょう？

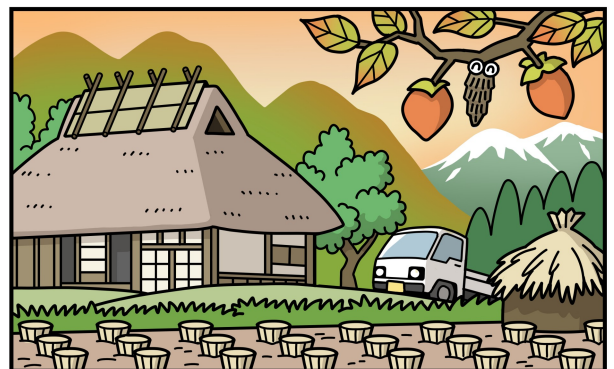
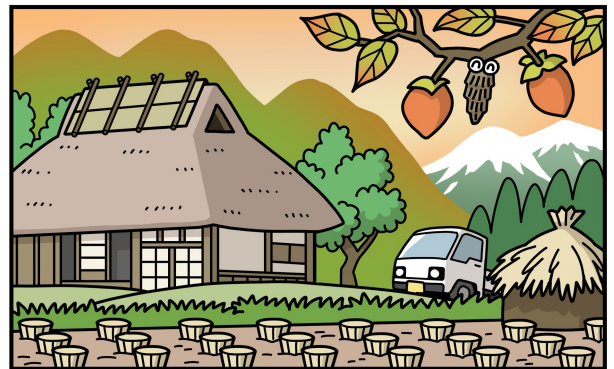
- ① 屋根付きの鳥居
- ② 柱が三本の鳥居
- ③ 陶器の鳥居

ヒント

真上から見ると三角形に見えます。



## まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。